

研究課題「認知症高齢者の家族介護者における対処方略と介護の肯定的認識との関連  
—性別ごとの分析—」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、名古屋大学生命倫理委員会により承認された「訪問看護サービスを受けている家族介護者の介護の感情に関する研究」(承認番号 21-138-2, 承認日 2022 年 3 月 30 日)において研究協力を得られた方です。

具体的には、全国を 8 地方区分に分け、北海道と無作為抽出した 1 地方各 4 県にある訪問看護ステーション 77 施設において、訪問看護サービスを受けている療養者の家族介護者が対象者です。

また、対象者は、説明書にて研究内容を理解し、質問票に回答を得た 20 歳以上の家族介護者です。

2. 研究の目的

高齢化が進む我が国では、今後も認知症高齢者の増加が予測されています。また、国民の半数以上が自宅での療養を希望していることから、認知症高齢者を自宅で介護する家族介護者への支援は重要な課題であると考えられます。また、家族による介護には、身体的・精神的負担が大きいという否定的な評価と、成長や生きがいにつながるという肯定的な評価の両方が存在するため、それらを理解し支援を行うことが求められます。対処方略については、女性介護者は、他者にサポートを求めながら介護に向き合っている一方で、男性介護者は介護を仕事として捉え、抱え込む傾向があるといった違いが報告されています。以上を踏まえ、性別ごとの対処方略と肯定的認識の関連を調査し、性別による違いを踏まえた看護職の支援の方向性について、示唆を得ることを目的としています。

3. 研究の方法・研究期間

本研究は、名古屋大学生命倫理委員会により承認を受け実施している「訪問看護サービスを受けている家族介護者の介護の感情に関する研究」(研究代表者 星野純子 承認番号 21-138-2, 承認日 2022 年 3 月 30 日)で収集されたデータの一部を活用して、統計的に分析するもので、当該研究の研究責任者より、個人情報を除いたデータの提供を受けて実施します。研究期間は、実施承認後～2026 年 3 月 31 日です。

データには、個人が特定できる情報はありません。また、本研究で使用するデータには、パスワードを設定し、保存された記憶媒体(USB フラッシュメモリ)は、名古屋大学医学部保健学科内の鍵付きのロッカーに入れて厳重に保管します。

研究に関する情報公開は、学会発表を通して行います。

#### 4. 研究に用いる調査項目

- ・要介護者について  
認知症の有無
- ・介護者について  
性別、要介護者との関係、同居家族、職業
- ・介護状況について  
現在の生活への満足感・生きがい、介護に対する肯定的認識、問題への対処方法・気分転換の方法

#### 5. 本研究に関するお問い合わせ

本研究に関するご質問等ありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合、回答者様に不利益が生じることはありません。しかしながら、本研究は個人情報削除したデータの提供を受けて実施いたしますので、研究協力の拒否については、お受けすることができかねますのでご了承ください。

##### **連絡先**

研究責任者：名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 准教授 星野 純子

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

電話番号 052-719-3155

苦情・相談窓口：名古屋大学大幸地区総務係 電話番号 052-719-1504